

## ランニング教室

道の駅多古ランニングコースを広める会によるランニング教室が開催されました。まちづくり志民活動助成金を活用し、元プロのマラソンランナーとして活躍された市河麻由美さんを講師に招いて開かれた全3回の講座に、町内をはじめ成田市や銚子市など、普段からランニングをしている20名が集まりました。

8月末の1回目では、室内でのピラティス※を中心に体幹や体のバランス、日常生活における正しい姿勢の大切さなどを学び、9月以降の2、3回目についてはあじさい遊歩道を走りながら、市河さんから一人ひとりのフォームがチェックされ、ケガをしないで長くランニングを続けられるためのアドバイスがされました。



※ピラティスは、筋力強化や柔軟性・バランス感覚の向上などの効果が得られる運動として、世界的に広まっています。

## 収穫の秋 味覚の秋

9月15日、豊饒のさとふれあい事業によるANA田米収穫祭が島地区の田んぼで行われ、参加したANAグループの社員らは収穫の喜びを体験しました。

JA多古町ライスセンターに集まった参加者は、刈り取った稲を縛るための縄作りに挑戦した後、田んぼに移動して鎌による稲刈りです。稲の束を両手で抱えて運ぶ子どもたちの様子は真剣そのもの。作業の後は、農協女性部の方々が用意してくれた新米のおにぎりに舌鼓。

「稲刈りは今回で2回目。お昼ご飯のお米も美味しいし、楽しいですね。まだ田植え体験には参加したことがないので、来年はぜひ参加したいです。子どもも、今日はおにぎりをたくさん食べましたよ」と家族で参加された方に感想をうかがうことができました。



## 地域をもっと活性化させたい

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的とした助成事業を行っています。今年、常磐の塙区では宝くじの助成金を活用して、テントやイスなど地域活動に必要な備品を整備しました。これにより、子どもから高齢者まで地域住民が一体となったコミュニティ活動のより一層の充実が図られます。

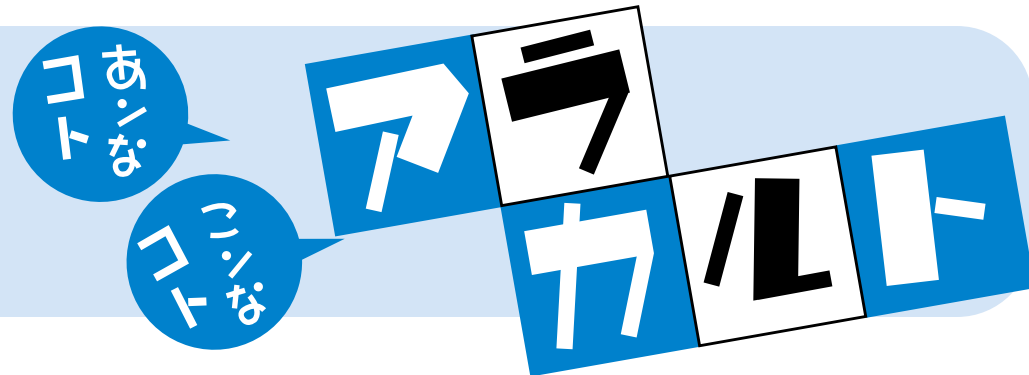
塙区のみなさんは「地域の人だけが参加する行事ではなくて、都市部など外の人たちと交流できるような取り組みを進めて、もっと地域を盛り上げていきたい」と話します。



## 千葉市の幼稚園児が稲刈り体験

9月15日、千葉市にある梅乃園幼稚園に通う園児たちとその家族が喜多地区の田んぼで稲刈り体験を行いました。これは昨年から幼稚園で、東台地区で作られた米を給食に使用している縁で、幼稚園から子どもたちに体験させたいと申し出があり実現された企画です。この春、園児たちにより田植えが行われ、稲の実りをむかえた田んぼに32家族の約100名が稲刈りに参加しました。保護者の方と一緒に園児たちは鎌を使って稲刈りを体験、刈り取った稲を何度も往復して運びました。稲刈りの後は、餅つきが行われ、つきたてのお餅をみんなで美味しく食べました。

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



## 昔の人はすごい!!

常磐小学校の5年生9名が植えた稲が実り、収穫の季節がやってきました。9月10日に刈り取った稲は学校のベランダで天日干した後、脱穀と舂すり、精米がすべて児童たちの手作業で行われました。

割りばしで穂を1本ずつ挟んで脱穀し、脱穀した舂はすり鉢に入れてソフトボールで擦ります。擦る力が強すぎても米が割れてしまうし、弱すぎても舂が取れないとうか加減が難しい作業です。舂すりの次は精米。ビンに入れた玄米を棒で突くと玄米同士がこすれ合い精米されるというわけです。この一連の作業、今は全て機械がやってくれますがその昔は手作業で行われており、家によっては子どもがやる仕事でもあったようです。この体験を通じて、「食べ物大切さ」や「米作りという職業的な理解」を深めてもらうことが目的だと担任の先生は話します。

精米した米は鍋で炊飯し、おにぎりにして食べる予定とのことです。自分で育てた米は、さぞ美味しいことでしょう。



「このような作業で、普段食べているお米になるのかどうか不安だったけど、本当にできてよかった」

感想

「食べるまでにはいろいろ大変だということがわかりました。昔の人はすごいなと思いました」